

NO.90
令和8年3月

京都府立
西乙訓高等学校

にしおつ
西 N 乙
PTA会報



長岡京市下海印寺西明寺41 TEL.955-2210 <http://www.kyoto-be.ne.jp/nishiotokuni-hs/mt/>



卒業おめでとうございます

PTA会長 慶澤 憲隆

卒業生のみなさん ご卒業おめでとうございます。
一、二年生のみなさん 新学年での活躍を期待しております。

特に卒業生は、4月から大きく環境が変わりますね。

Mr. Children (ミスチル) の大ファンの友人から教えてもらったエピソードを「はなむけの言葉」として贈りたいと思います。

10年ほど前のコンサート中、音が出なくなり、ミスチルの桜井さんは、会場のみなさんに「トラブル最高〜！」と叫んだそうです。

それを聞いたファンの人たちは、更に盛り上がり、すごい熱気だった、と友人は語ってくれました。

このエピソードを聞いた英語教師の知人は、さらに教えてくれました。

「トラブル(旅)」と「トラブル(困難)」は同じ語源から生まれた兄弟語で「Travel」「Troll」「Trawl」「Trawl」(陣痛、苦労)が語源なのだ。

さかのぼれば、江戸時代までの「旅」(Travel)は「水盃を交わす」別の儀式を必要とするほど、困難(Travel)がつきものでした。

「可愛い子には旅をさせよ」のことわざ通り命がけの旅は「人を成長させる」ものだったのでしょう。

人生の旅路がみなさんだけでなく私自身にも続いていきます。
このメッセージは、自らに言い聞かせるためにも書きました。

「トラブル(旅)にトラブル(困難)はつきもの」

「トラブル最高〜！」と桜井さんのように言ってみてくださいね。

みなさんの更なる飛躍と幸せを願っております。

祝 御卒業

校長 三木 孝史

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんが歩み始める未来は、私たちが想像していた以上に大きく変化しています。その象徴が「AI(人工知能)」の進歩です。数年前には夢物語だった技術が、今では日常生活に溶け込み、学びや仕事のあり方を大きく変えてきています。

AIは文章を作り、絵を描き、また医療や交通を支える存在になっています。しかし、AIは万能ではありません。2学期の終業式でみなさんにお話ししましたが決まっていること、マニュアル化されていることは膨大な知識を駆使してAIがしてくれますが、俳句や歌詞のように文の行間から創造する力はまだまだ人間に及びません。

これから求められるのは「創造する力」「共感する心」「倫理を考える知恵」です。

そのためには「学び続ける力」「柔軟に考える力」「人と協力する力」が不可欠です。一筋縄ではいかないことがいっぱい出てきます。またどちらも正解という答えのない問いも出てきます。学びに終わりはありません。これからも学び続け、人と協力して、考えて、考えて、考えてみてください。考えて出た答えはAIには及ばない「人間」だからできる「答え」となるでしょう。

最後に昨年NHKで放送された「あんぱん」、これは「アンパンマン」の作者、やなせたかしさん夫婦の物語が題材となっています。その「アンパンマンのマーチ」の歌詞2番を送ります。

なにがきみのしあわせ なにをしてよろこぶ

わからないままおわる そんなのはいやだ

わすれないでゆめを こぼさないでなみだ

だからきみはとぶんだどこまでも・・・

みなさんの前には無限の可能性があります。これからどう生きるか、それはあなた次第です。自分の夢を描き、変化を楽しみながら、一歩ずつ前へ進んでください。

心から応援しています。

今日まで心を離すことなく導いてくださった保護者等のみなさまに感謝申し上げます、保護者等のみなさまの今後ますますの御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

これからも本校に変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。



PTA本部

各種PTA関連会合（府PTA指導者中央研修会等）へ出席しました。

制服リユース事業を実施し、たくさんの方にご協力いただき、制服の橋渡しができました。



西乙祭・文化の部では飲料とお菓子の配布、西乙祭・体育の部では飲料の配布を行いました。

生活安全委員会

1年生のクラス委員さんも協力いただいて、各学期にそれぞれ通学安全指導を行いました。また、1学期には自転車安全点検の実施をお手伝いしました。



広報委員会

3年生のクラス委員さんを中心にご協力いただき、8月に広報誌「西乙」第89号、3月に第90号を発行しました。

進路委員会

各学年の進路講演会の実施を行いました。6月に大学見学会を実施しました。

文化厚生委員会

今年度は6月に長岡文化会館で実施された団体鑑賞に参加し、生徒とともに劇団アルファによる「爺さんの空」を観劇しました。

各学年委員会

全学年をとおして、学年ごとの進路説明会と学年懇談会を実施しました。また、西乙祭・文化の部では飲料とお菓子の配布、西乙祭・体育の部では飲料の配布のための手配やお手伝いをしました。

また、定期的に会合を開き卒業記念品の配布や広報誌「西乙」に掲載する内容や選定を行い今後のPTA活動のあり方などについても話し合いを持ちました。



生徒会活動報告

今年度生徒会長を務めさせていただきました西田夏渚です。

今年度の生徒会活動では、春休みから新入生歓迎会のパンフレット作りや動画作り、挨拶運動を行いました。また、休日には学校説明会のお手伝いをさせていただきました。

そして今年度は、前年度よりも内容が充実した西乙祭を開催することができました。文化の部の生徒会企画では、前年度に企画した「玉探し」「夜祭」の他に、校内を、たけぼりが周回していました。準備は大変でしたが、協力してくださった先生方や生徒会役員、そして西乙祭を楽しんでくださった皆さん、本当にありがとうございました。

前年から引き続き、文化・体育の両方を開催できたことは大変嬉しく思っています。今年度は開催日程を大幅に変更しました。酷暑を避け、準備期間の充実、西乙祭の質的向上につながりました。このような改善に向けてのチャレンジにお力を添えて頂いたPTAの皆様、ありがとうございました。

三年生の皆さんへ卒業おめでとうございます。先輩方は、ちょうど新型コロナウイルスによる流行とその混乱から明けた時期と重なり、文化祭や修学旅行などの行事が再開された世代でもありません。そこでは前例の踏襲ではなく、模索と変更の



時期でもありました。自分たちが過ごす時代は選べないものです。しかし、その時その時で経験したことは、後に必ず人生で生かせると思います。これからの先輩方のご活躍をお祈りしています。

3年生 青空劇場

3-1



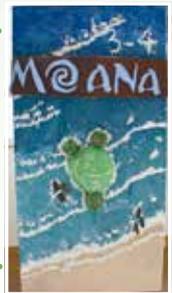
3-2



3-3



3-4



第42回 西乙祭

文化の部

2025. 9/30・10/1

クラス発表

<p>最優秀賞</p>	1-4	<p>優秀賞</p>	1-1
	2-3		2-4
	3-4		3-2

サインボード

<p>最優秀賞</p>	1-2	<p>優秀賞</p>	1-4
	2-1		2-3
	3-1		3-2



部・委員会による展示・発表

2年生 演劇

2-1



最優秀賞

2-2



2-3



優秀賞

最優秀賞

2-4



優秀賞

1年生 創作発表

1-1



優秀賞

1-2



最優秀賞

1-3



1-4



最優秀賞

優秀賞

JRC



軽音楽同好会



美術部



保健委員会



令和7年度京都府PTA指導者研修会

2025. 11. 21



研修旅行特集

第2学年 台湾への旅 (2025. 11. 5～11. 9)

「噂で決めつけるのは良くない」「行く前はごはん美味しくないかと思ってたけど、行ったらそんなことなかっためっちゃおいしいご飯ばかりだった」「台湾語をもっと話せたらよかった」「その国に行って感じる事が大切」「日本の雰囲気と全然違うので違和感ありつつも、その違和感を楽しみました」

これらは、研修旅行を終えた生徒達の感想の一部である。

初めて渡航する生徒が7割弱であった研修旅行団。“自分の肌で感じ、目で見て、匂いを嗅ぎ、舌で味わい、口コと交流を！”と生徒に話すこと1年少々。いよいよその時がやってきました。引率団は、ワクワク。生徒達は、それぞれワクワク♪

降り立った台湾の地、バーチャオやウーシャンフェンの香りに戸惑うものの、初めて目にする街並みや飛び交う言葉に新鮮な刺激を受け、ぐいぐい台湾に引き込まれていった生徒達。南投高級中学校では、早くも「日本に帰りたくない。台湾に残りたい。」発言を聞くこととなった。(「はよ、帰りたい」じゃなくて良かった♡)台湾の人々の温かさに触れ、学校交流ではおもてなしを受け、どっぷり台湾を楽しんでいるようであった。

生徒達は今回の研修旅行で、普通の授業では学べない大切な事、五感をフルに活用して学んだのではないだろうか。

行ってみないと分からないこと。未知の世界に行くには、少し勇気が必要かもしれない。残りの高校生活、その“少しの勇気”を振り絞って多くの未知にチャレンジ、いろんな世界を見て欲しい。



南投高校での歓迎会



空港にて



故宮博物館



交流会



食事風景



台北散策

1年を振り返って

第一学年部長 卯瀧 洋直

4月にみなさんが入学されてから春、夏、秋、冬と全ての季節を共に過ごして参りました。4月下旬、学校生活に段々と慣れて、休み時間教室からたくさんのお話し声が聞こえてきた頃を懐かしく感じております。

年度当初のオリエンテーションはみなさんの緊張感がこちらに伝わってききました。7限50分授業が週に3回。これにはなかなか慣れることができないようでした。1学期の学習内容は中学校の復習的な内容も多く、なんとか乗りきっているように見えました。校外学習・球技大会を経験し、高校生活に少しずつなじんできているように感じました。

そして2学期、西乙祭は初体験も相まってとても盛り上がりを感じました。先輩方の迫力や繊細さを肌で感じつつ、体育の部・文化の部の方、1年生にとって記憶に残る取り組みとなりました。特に文化の部では、それぞれのクラスが西乙祭実行委員を中心に初々しくパフォーマンスすることができました。自分が西乙生であることを言葉ではなく、体で文字どおり体感できたのではないのでしょうか。

祭りの後、すぐに2学期中間考査となり切り替えが効かないまま試験当日を迎えてしまいましたね。散々な結果に終わったと記憶しております。夏休みを引きずり、季節も秋というよりは夏日を継続する中、どうしようもなくなってきたムードに全体が支配されているようでした。

12月上旬、季節も完全に秋から冬。2学期期末考査は1年間全体を推し量る重要な試金石でした。この考査の重要性を理解し、取り組んでいこうとする姿勢に実感を伴う真剣さを感じられました。入学からたった数ヶ月ですが、みなさんは学校生活を通じて確かに成長されていると感じました。

その確かな実感を胸に3学期学年末考査を迎え、是非とも進級し、さらなる成長を遂げていって頂きたいと思っております。

第二学年部長 谷村 侑子

4月 新クラス発表、5月 校外学習で舞鶴に平和学習と海上自衛隊見学、6月 団体鑑賞、球技大会、7・8月 お待ちかねの夏休み、9月 西乙祭文化の部、10月 西乙祭体育の部、11月 台湾研修旅行、12月 お待ちかねの冬休み、1月からは3年生になるための諸々の準備開始。合間には、海外からたくさんの方々が来校、いろいろな考え方や価値観に触れる機会がありました。また、定期的にオープンするキッチンカーに毎回ワクワクしていたことと思います。

生活に慣れるのに一生懸命だった1年生の時と比べ、見通しを持って過ごすことができた2年目だったのではないのでしょうか。

2024年4月に入学してから、修了式の本日まで711日という月日が経過しました。学習活動や学校行事等を経て、経験や知識等、たくさん身に付いたことと思います。当然ながら、物質的な荷物もたくさん増えているでしょう。必要と不要を自分で判断し、整理整頓ができていますか。自宅の自室がゴミ箱と化していませんか。教室での様子を見てみると、きちんと整理整頓ができる者、そうでない者がはっきりとわかります。学校内での個々の心の状態や学習への姿勢そのものを映し出していると感じます。整っている気持ちいいですね。それらは、周囲へも影響します。ちょっと面倒だなと思う時も、自分のために、同じ教室で共に学んでいる仲間のために、より良い環境づくり心がけてください。丁寧な生活を心がけることが、より質の高いチャレンジに繋がります。

いよいよ高校3年生。勝負の年のスタートです。皆が「気持ちが良いな」と感じられる環境の中で、進路実現を目指し切磋琢磨してほしいと思います。担任団は、頑張る皆さんを応援します。

贈る言葉

3年担任より



1組 河本 孝弘 先生

失敗から多くを学ぶということは、多くの先人が語ってきたことです。何が失敗で何が成功かは人それぞれかもしれませんが、入学式から3年生の皆さんには「たくさん失敗してください」と伝えてきました。わざと失敗をしている人はいないでしょう。誰も好きで失敗なんかしません。周りの目も気になるし、恥ずかしいという感情が襲ってくるとこれまでの経験で知っているからです。リスク回避も大切です。ただ、本当に回避すべきリスクでしたか？

やってみたら恥ずかしいけど、失敗するかもしれないけど、やってみる価値はあったんじゃないでしょうか。高校3年間、いろんな事があったことでしょう。人間関係から文化祭、研修旅行といったイベントまで、多くの場面でやるか、やらないかという選択肢が目の前を通り過ぎていったはずですが、わかったつもり、知ったかぶりでスルーしてきませんでしたか？担任目線ですが、もったいないなど感じる場面を3年間たくさん見てきました。厳しいことを言いますが、皆さんが歩いている道は過去の人たちが、または周りの人たちが積み上げてきたもの、気付かないところでサポートしてくれてできた道です。思い違いをしてはいけません。皆さんの努力も当然ありましたが、精一杯努めてこれたでしょうか。自分が嫌がること、避けてきたことは誰かが代行してくれています。途中でやめてしまったことを続けていれば、違う世界が見えたかもしれません。人間の脳は変化を嫌い、快を求め、不快を避けようとします。「面倒くさい」「疲れた」という発言がすぐに出てしまう人、感情系を出す前に、「なぜ？」「他の人はどう考える？」「やってみたらどうなる？」という思考力を鍛えてください。社会生活あらゆる場面での判断や行動に影響が出ます。

「やってみなくちゃわからない」卒業する皆さんに最後に伝えたいことです。

この学び舎での思い出と、これからの希望を胸に大きく羽ばたいてください。前途洋々たる未来に幸多きことを祈ります。

2組 深井 勝登 先生

まもなく高校3年間の生活が終わろうとしています。みなさんは、子どもでありながら大人になろうとする、そんな時期を過ごしました。青年期と呼ばれるこの時期には、「自分はどんな人間で、何をしたい人間なのか、他人とは異なる唯一無二の自分」を探る、つまりアイデンティティを確立することが課題であると昨年度の公共の授業で教えました。どうでしょうか、そんな自分が見つかりましたか？

高校生のみなさんにとっては「学校の成績」が価値あるもので、そのために勉強を頑張ってきたかと思います。しかし残念ながら、この成績は卒業とともに価値を失ってしまいます。つまり、「公共の成績が『5』だった！」とか「政治・経済の成績が『2』だった…」ということは、今後みなさんが社会人として生きていく上で、実は大した影響がないということです。では、今後何がみなさんにとって価値あるものになるのか。それこそが高校生活で見出した「アイデンティティ」ではないかと私は考えます。

例えば、自分が他人よりも「優しさ」に自信があり、それがアイデンティティだと考えるならば、それが生かせる職業に就き、自己実現を図ってください。優しさを他人に与えられる人間は、巡り巡って他人からも優しさを得ることができると思います。すると、アイデンティティが人生の指針となるだけでなく、自らの人生を豊かにし、あなたにとってかけがえのない価値あるものになっているかと思えます。しかし、まだアイデンティティを確立していない人もいますかもしれません。まだ遅くはないので、今後、確固たる自分を探し、一度きりの人生を豊かなものにしてほしいと思います。

この文章では語りきれないことを2年間のなかで伝えたいつもりです。その中の1つでも何かがみなさんの内に刻まれ、プラスの影響を与えているならば幸いです。では、今後のみなさんのご活躍とご健勝を祈念して文の締めとさせていただきます。

3組 松村 翔子 先生

みなさん卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは3年間でどのようなことを学びましたか？勉強はもちろん、人間関係についても様々な学びや経験があったかと思います。いい思い出だけでなく、嫌な思い出も含めすべて皆さんの経験値になります。経験値は今日欲しいと思って手に入れることができないものです。皆さんには「おもしろい人間＝魅力のある人間になってください。」と伝えていましたが、この経験値が皆さんを成長させ深みを持った魅力のある人間にしてくれます。これから先も様々なことに挑戦し経験値を高めてほしいと思います。また、休み明けの授業では3年間私の夏休み・冬休みの紹介を欠かさずしてきました。勉強や仕事は生きていく上でとても大切なことですが、目的なく進んでいくには疲れてしまいます。私の旅行の話や経験を話すことによって何か一つでも目標や興味のあることが見つければ、好きなことが出来る楽しさが伝わればと思います。とくに結婚式の話や家づくりの話は皆さん目を輝かせながら聞いてくれたのが印象的です。

そして今後、今まで指摘されたことの重要性に気づくことが沢山出てくると思います。その時になって当時の自分の幼さを理解し、愛されていたと実感することが出来ると信じています。歳を重ねるにつれて皆さんを叱ってくれる人たちはどんどん少なくなっていくと思います。指摘されたことは素直に受け入れ生きていってください。これからもあなたたちの人生、あなたたちが主役です。やりたいことを見つけて懸命に生きていってください。

4組 内村 真緒 先生

ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

三年間の高校生活、皆さんは決して楽しいだけの日々を過ごしてきたわけではなく、思うようにいかずに悩んだ日、いろんなことを投げ出したくなった瞬間もあったと思います。それでも学校へ来て、課題に向き合い、踏ん張りながら卒業の日を迎えた皆さんを、心から祝福します。ここから、皆さんはそれぞれ新しい環境へ踏み出し、自立した大人へとさらに成長を続けます。自立した大人とは、人に頼らず、弱さを見せず、自分の力だけで前に進むことではありません。『自立とは自分が困ったときに頼れる人を増やしていくこと』だと、何かで読んだことがあります。自分だけではできないこともあると知り、それを認め、誰かに支えてもらうことは、決して弱さではなく、社会の中で生きていくために必要な力です。私も日々多くの人に支えられ、今を生きています。この三年間は皆さんの存在にもたくさん助けられました。自立するということは、一人で立つことではなく、人とつながりながら、自分の足で立とうとし続けることではないかと私は思います。これからも迷い、立ち止まることがあると思います。そんなときは、一人で抱え込まず、これまで築いてきた人とのつながりを思い出し、誰かに頼れる人になってください。そして、誰かが困っているときには、皆さんが手を差し伸べられる存在になることを願っています。自分らしく迷い、学び続けながら、自分の歩幅で前に進み続け、この先も成長し続ける皆さんのことを、ずっと応援しています。

保護者の皆様、私は教師としても担任としてもまだまだ未熟で、多くのご心配をお掛けしたこともあったと存じます。しかし、毎日お子様を学校へ送り出して頂き、本校の教育活動にご理解、ご協力頂き、誠にありがとうございました。そっと見守り、支え、時に待ち続けてくださった存在があったからこそ、生徒たちは安心して挑戦し、立ち止まってもまた歩き出すことができました。担任としてそういった姿をそばで見てこられたことに、心より感謝しております。

卒業する皆さん、これからも人とのつながりを力に、それぞれの場所で前へ進み続けてください。

硬式野球部

私たち硬式野球部は、昨年度から他校との合同練習が多くなり、様々なチームと練習をともにしてきました。平日、西乙で基礎的な動きを先生から学び、毎日コツコツと積み重ねています。週末は人数でしかできない練習を行っており、特に実践的なプレーをたくさんこなしています。野球は考えれば考えるほど楽しいスポーツです。自分に足りない部分に気づき、改善の工夫をすることによって、うまくいったときは成長を感じられることができます。今は夏の大会に向けて、日々の努力を大切にしています。



陸上競技部

こんにちは！陸上部は現在、1年生3名、2年生1名、マネージャー2名で活動しています。人数は少ないですが、仲が良く楽しく練習に励んでいます。さらに他の高校との合同練習を通して、様々な技術や知識を学ぶことができます。未経験者の方も大歓迎です。ぜひ、陸上に少しでも興味のある方は、僕たちと一緒に練習しましょう。入部待ってます。



サッカー部

現在は洛水高校・田辺高校と合同チームとして公式戦等に出演しています。目標は単独チームを作ること、公式戦で1勝することです。ぜひ一緒にサッカーしましょう！プレイヤーもマネージャーも絶賛募集中です！未経験者大歓迎！！



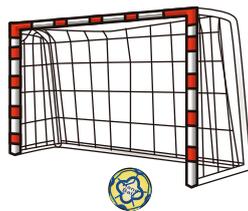
女子バレーボール部

女子バレーボール部は、現在部員が1名のため。桂高校、田辺高校と合同チームとして活動しています。移動も多く、チームとして大変なところもありますが、バレーボールが好きという気持ちで楽しく活動しています。練習試合や公式戦などにも参加し、目の前のワンプレーを大切に向上心をもってこれからも活動していきます。応援よろしくお願ひします！



男子ハンドボール部

新入部員募集中!!



テニス部

新入部員募集中!!



バドミントン部

初心者も多い部ではありますが、高校始めでも試合で勝てるように、日々課題に取り組んでいます。練習場所は常にあるので、初心者でも経験者でもたくさん羽根（シャトルコック）が打てるのが本校の強みです。3年間続けることができれば、バドミントンのしんどさも面白さも実感できるはずです。やってみようとして少しでも考えている人、大歓迎です。



弓道部

こんにちは！弓道部です。弓道は部員全員が仲良く、礼儀と集中力を大切に、日々切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。OB・OGや外部からの先生、一人一人の努力により、西乙訓では毎年、近畿大会出場者や全国大会出場者が出ました。本校弓道部は全員が未経験者なので、少しでも興味をもっている人はぜひ弓道部に入部して、私たちと成長してみませんか？



男子バレーボール部

男子バレーボール部です。現在、2年生3人、1年生4人、マネージャー2人の計9人で活動しています。リーグ戦突破を目標に日々努力しています。基礎練習を中心に、一人一人課題を意識しながら練習に取り組んでいます。次の大会では、努力の成果を発揮して全員で目標を達成できるように頑張ります。



卓球部

新入部員募集中!!



男子バスケットボール部

こんにちは。男子バスケットボール部です。私たちは、1年生4名、2年生4名、マネージャー2名で活動しています。日々試合で勝つ意識をしながら練習しています。3年生が引退して人数は減ってしまいましたが、一人一人が仲間を支えあって練習を行っています。この部活はよくOBの先輩方が練習に参加していたり、試合の相手になってくれて、たくさんのアドバイスがもらえます。バスケットを楽しみたい人は大歓迎です。



女子バスケットボール部

新入部員募集中!!



部活動紹介

美術部

こんにちは、美術部です。私たちは、水曜日と金曜日の週2回美術室に集まって活動をしています。美術部では、普段は各々が好きなように絵を描いており、自由に活動しています。文化祭では、作品の展示をしたり、黒板アートをします。時折、依頼を受けることもあり、過去には鯉のぼりの制作を行いました。絵を描くことが好きな人や、興味のある人はぜひいらしてください。2、3年生の途中入部も歓迎します。



吹奏楽部

私たち吹奏楽部は「感謝の気持ち忘れず、仲間を大切に、互いに高め合い、応援される部活動」を目標に日々楽しく活動しています。今年度は、京都府吹奏楽コンクール小編成で2年連続金賞、日本学校合奏コンクール全国大会出場し優秀賞、近畿高等学校総合文化祭鳥取大会に京都府合同バンドとして出演、LOCAL CONNECTとコラボ演奏など充実しました。これも皆様の応援のおかげです。感謝申し上げます。3月21日開催「第40回記念定期演奏会」にぜひ御来場ください！



ワンダーフォーゲル部

ワンダーフォーゲル部は3年生2名で、学校からあまり遠くない自然豊かな場所へ出かけて活動しています。自然の中で過ごす時間は、普段の学校生活では味わえない発見にあふれています。風の音や土の匂いを感じながら体を動かすことで、自然と心が落ち着き、自然と戯れることは、楽しさだけでなく、自分自身を見つめ直す大切な時間にもなります。皆さんもそんな時間を一緒に体験してみてください。



文芸部

みなさんこんにちは、文芸部です。火曜日と金曜日の週2回活動しています。活動内容は百人一首かるたの練習と創作活動の2つがメインです。写真は洛南高校でのかかるたの練習風景です。創作は各自が小説などの作品をつくり、冊子にまとめ、西乙祭の時期に配布します。興味のある方はぜひ体験に来てください。



放送部

放送部は少人数で仲良く活動しています。週3回の「お昼の放送」のほか、「NHKコンテスト」や地域のラジオ・イベントにも出場します。音響機器や声優などに少しでも興味のある人は、ぜひ見学に来てください。ほぼ全員が未経験者のため、未経験者も大歓迎です！！



演劇部

こんにちは演劇部です。演劇部は週に1回～2回活動しています。普段は「発声練習」「滑舌練習」で声を出して、10～20分程度の台本を読む練習をしています。演劇は演技だけでなく裏方と呼ばれる人たちの存在も重要です。演技だけでなく無く裏方の仕事に興味のある人の入部もお待ちしております。最後に3年生へ、短い期間でしたが一緒に活動できて楽しい時間をすごせました。大学生活がうまくいくよう協力から応援しています。



茶道部

みなさんこんにちは、茶道部です。私達は水曜日と木曜日の週2回活動しています。水曜日には外部の先生をお招きしてお稽古をしています。浴衣、着物の着付け講習、茶筌削りや干菓子作りなどをする事もあります。興味のある方はぜひ体験に来てください。



写真部

今年度は3年生1名2年生5名の計6名で活動しています。例年、京都府高等学校総合文化祭や地域の文化祭に出展してきました。本校文化祭の西乙祭文化の部でも大規模な展示をおこない、今年度も特にチェキの撮影と配布のイベントは大盛況でした。また、日常的に渡り廊下などで展示をおこない、校舎を彩っています。



サイエンス部

サイエンス部は、毎年、西乙祭で熱気球に取り組んでいます。代々伝わる気球は、バーナーの熱による傷みで継ぎ接ぎだらけになっています。西乙祭の熱気球で3年生は引継ぎです。いろいろな実験に取り組み、上手くいかないことも多かったのですが、サイエンス部の活動が今後の糧になることを願っています。「失敗は成功のもと」です。



グローバル部

私たちグローバル部は、1年生12名、2年生9名で活動しています。今年度は、祇園祭ごみゼロ大作戦への参加、2年生が研修旅行で訪れた台湾高校との事前オンライン交流、西乙祭でのフェアトレード商品の販売などを行いました。3月には、京都外大との連携プログラムで、清水寺での英語観光ガイドのボランティアに参加します。普段は、ALTの先生と英語を使って楽しいゲームをしたり、ハロウィンやクリスマスのパーティーをしたりと、仲間と楽しく活動しています。



●編集後記
 今年の西乙祭は、心地よい晴天に恵まれ、生徒たちが協力し合いながら、クラスや部活動の企画に全力で取り組む姿が大変印象的でした。準備段階から当日に至るまで、試行錯誤を重ね、仲間と意見を交わしながら一つの形を作り上げていく様子からは、生徒たちの成長を強く感じさせられました。
 そのような西乙祭の生き生きとした様子を、本誌を通して保護者の皆様にお届けできることを、心より嬉しく思います。
 「西乙」第90号の発行にあたり、取材や原稿作成にご協力くださいました多くの皆様に、心より深く感謝申し上げます。皆様のご理解とご支援があつてこそ、本誌を無事にお届けすることができました。
 本誌が、保護者の皆様にとって、生徒たちの西乙校での日々の学びや学校生活の様子を身近に感じていただく一助となりましたら幸いです。
 PTA広報担当 東 由紀

各部活動の活動状況・成績につきましては、西乙訓高等学校のホームページで御覧ください。

総合優勝 青団 (3年2組、2年4組、1年2組)

総合準優勝 緑団 (3年1組、2年3組、1年1組)



西乙祭
体育の部
2025.10.28

